

2019年7月号

須藤大輔の スドイ言葉

6月よりリフティングカレンダーを配布しております。
2019年度は7月で配布2ヶ月目となりますが今年度より親御さまによるテスト項目を設けております。

この機会に是非お子様の技術レベルの確認、コミュニケーションツールとして一緒にカレンダーを作り上げていただけたらと思います。

先の6月1日に行われました16チーム参加のアシストエンジニアリングカップ(U9サッカー大会)において準優勝という結果となりました。

チームとは違いチーム戦術やシステムの練習を一切しない中でこの結果は、組織を凌駕する個人技のレベルアップが今この年代のお子様にも必須であることを改めて証明した結果だと私は感じております。

特にドリブルでの突破、持ち上がりの技術を徹底的に獲得して行きたい！をテーマにRouteのトレーニングは構築されており、今回子供たちの技術力の成長を大きく感じた結果となりました。

このドリブル技術を生かすも殺すも、もう一つの個人技で大切なファクターが鍵を握っております。

それは「認知」「判断」「実行」スピードの早さです。

このスピードを上げるために私は敢えて【前へ】を強烈に意識させ、ドリブルで仕掛ける癖、前のスペースが空いている時は自分で持ち上げる意識をテーマに試合からの逆算でトレーニングを作成し、子供たちに落とし込んでおります。

試合中、様々な状況が突発的、偶発的に現れます、「こういう状況だから、こうしなさい！」ではなくドリブルで仕掛けることが染み付いていれればまずは仕掛ける！

しかし仕掛けて損をする場面も多々あり、ボールを失う、その時に気が付きが生まれる。

今、ドリブルよりパスが良かったのかな？

今あの子がドリブルしているけど、ここに動けばパスの方が有利じゃないのかな？

という認知、判断の部分がドリブルすることで子供たちの中で自然に生まれてきます。

子供たち発信で生まれ身に付いたものは試合の中で考える前に、自然な動きとして感覚的に表現できるようになります。

これこそが最も重要なものであり、他に変わりたいものではないかと私は考えております。

Routeでは今後も個人技のレベルアップを理念に掲げ本物の技術、判断スピードの獲得を目指して活動して行きたいと思っております。

お子様のそれぞれのRoute、それぞれの夢へ、全力でサポートさせていただきたいと思っております。

アシストエンジニアリングカップ



各校のスケジュールやお知らせはWebサイトを御覧ください <http://www.route-school.com>



2019年6月30日刊行

次号は7月下旬の発行を予定しています。